

第4 魅力あふれるまち

施策 8

歴史や文化など地域の特色を生かした魅力の向上を進めます

施策の展開

歴史や文化を生かした魅力向上

南区の歴史や伝統文化などの魅力資源を生かしたイベントを通して、幅広い世代が地域の歴史や伝統文化などに親しむ機会を提供し、南区の魅力向上を図ります。

魅力資源を区民に広く伝え、南区に誇りと愛着を持ってもらえるよう、区民への魅力発信の強化に取り組めます。

新たな魅力の発信

区の花「ひまわり」の植栽活動を通して、花と笑顔であふれるまちづくりを進めます。広報やイベントなどでミオーを積極的に活用するとともに、地域で行われるイベントへの参加を進めます。

あまり知られていない地域の魅力や新たな魅力に関する情報を積極的に集め、区民へ発信します。

文化芸術を生かした地域づくり

誰もが文化芸術に親しむことができる場づくりを進めるとともに、文化芸術を通じた区民のつながりや交流の機会を提供し、まちの活性化を支援します。

また、若い世代が文化芸術に触れる機会を提供することで、将来にわたって文化をはぐくむ基盤づくりを進めます。

	成果指標	現状値	目標値（令和5年度）
1	南区の歴史や文化で自慢や紹介ができるものがある区民の割合	22.7%	38%
2	南区の区の花がひまわりであることを知っている区民の割合	54.1%	59%
3	ミオーの認知度	45.3%	50%
4	日ごろから文化や芸術に親しむ機会のある区民の割合	27.3%	32%



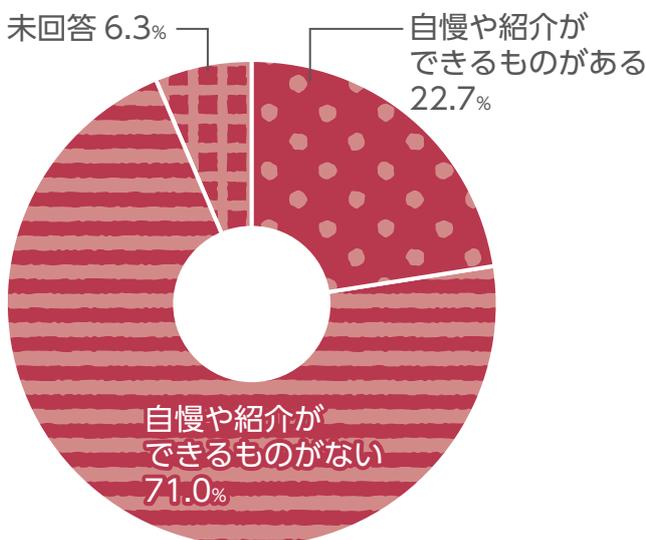
現状

- ・見晴台遺跡や笠寺観音、笠寺一里塚など数多くの歴史的資産があり、また、狸々や棒の手など古くから伝わる伝統文化が受け継がれています。
- ・一方、南区の歴史や文化で自慢や紹介ができるものがある区民の割合は22.7%となっています。
- ・区の花「ひまわり」は、昭和63年に、8種類の花から区民の応募により選ばれ、現在でも、多くの区民に親しまれています。
- ・「M i o o (ミオー)」は、区制100周年の記念事業のキャラクターとして誕生し、現在は区のイメージキャラクターとして活動しています。
- ・南区唯一の文化ホールである南文化小劇場の平成29年度の利用率は85.9%です。

課題

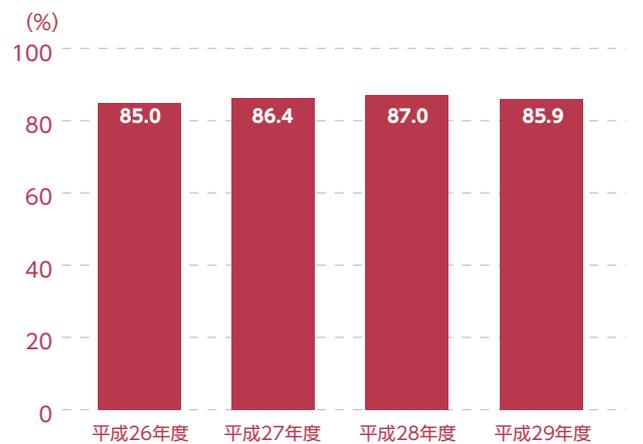
- ・歴史的資産や伝統文化を活用し、南区の魅力を高めるとともに、その魅力を広く発信することが重要です。
- ・ひまわりやミオーが区民の皆さんに愛される魅力となるよう、積極的に活用していくことが必要です。
- ・地域の隠れた魅力や新しい魅力を発掘し、積極的に発信していくことが重要です。
- ・南文化小劇場には、区民が気軽に文化や芸術に親しむ場を通じて、地域のつながりや交流が深まる効果がよりいっそう求められています。

図 4.13 南区の歴史や文化で自慢や紹介ができるものがある区民の割合



出典) 令和元年度南区区民アンケート

図 4.14 南文化小劇場の利用率の推移



出典) 南区作成



第4 魅力あふれるまち

施策9

区民の交流や地域の担い手づくりを支援し、地域の活性化を進めます

施策の展開

地域における交流と担い手づくりの支援

区民まつりなど、区民が主体となって、ふれあい、交流できる場づくりを支援します。

地域コミュニティや様々な分野で活動する地域団体の活動を紹介し、幅広い世代の参加を働きかけるとともに、若者が地域で活躍する機会を提供し、将来の地域の担い手を育てます。

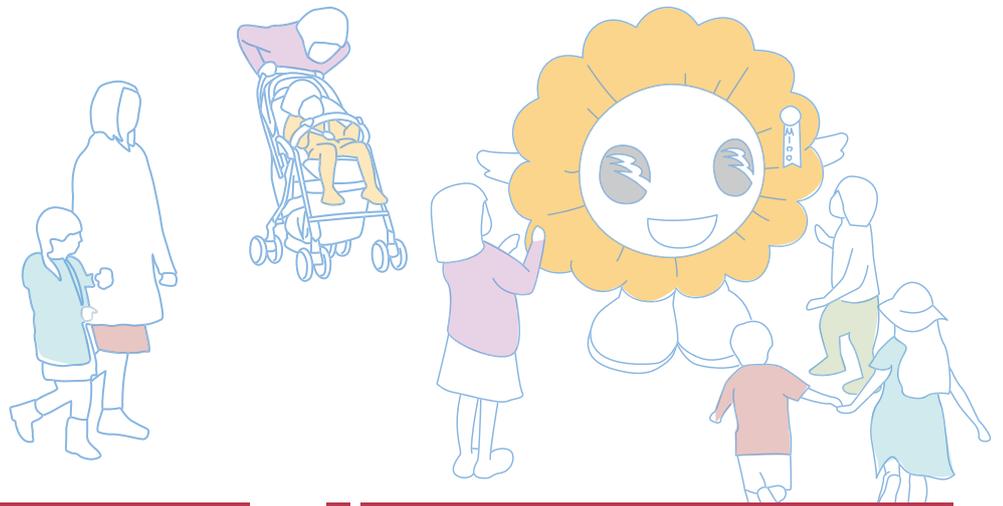
外国人住民が地域で暮らすうえで必要な情報を発信していきます。

大学との連携によるまちづくり

大同大学との連携により、大学のノウハウや学生の柔軟な発想を生かした地域課題の解決を進めます。

また、さらなる連携・協力の発展・深化に向けて、大学・行政の潜在的なニーズの掘り起こしを進めます。

	成果指標	現状値	目標値（令和5年度）
1	南区区民まつりに行ったことのある区民の割合	36.8%	50%
2	地域の住民によるまちづくりが活発に行われていると思う区民の割合	54.4%	63%
3	大学との連携事業件数（累計）	2件	14件



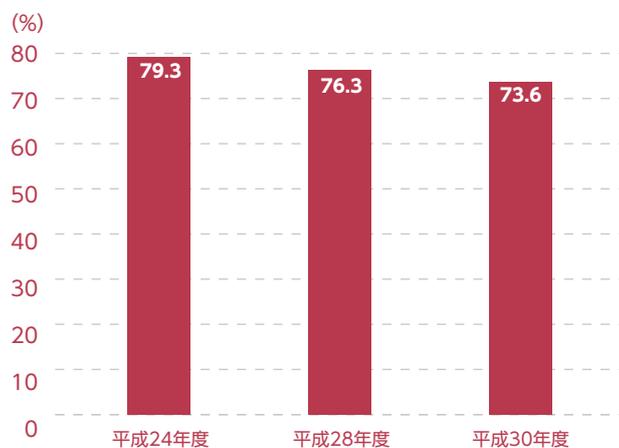
現状

- ・区民同士のふれあいと交流の場として、昭和 59 年から南区区民まつりを毎年開催しています。
- ・南区の町内会への加入率は、全市平均を上回っているものの減少が続いています。
- ・南区の外国人住民の数は、増加傾向が続いています。
- ・南区には、4つの高等学校と、1つの大学が立地しており、様々な社会貢献活動に取り組んでいます。
- ・南区に立地する大同大学との連携により様々な事業に取り組んでおり、平成 31 年 3 月に包括連携協定を締結しました。

課題

- ・区民同士がふれあい、交流できる場として、誰もが参加しやすい区民まつりを継続・充実していくことが求められています。
- ・地域が抱える様々な課題に対応するためには、自主的にまちづくりに取り組むことができるよう地域の担い手を増やしていく必要があります。
- ・文化や習慣の異なる外国人住民が円滑に地域で暮らすことができるよう支援が求められています。
- ・価値観の多様化や区民ニーズの複雑化が進む中で、若い世代の感性や発想を生かしたまちづくりが求められています。
- ・様々な行政分野において、大学の教育機関や研究機関としてのノウハウを活用していくことが重要です。

図 4.15 南区町内会推計加入率の推移



出典) 生活環境指標